



10月は ハロウィン Halloween



10月の季節感のある行事
と言えば、なんといっても
ハロウィンです。みんなで
仮装はできるし、おやつは
もらえるしと、いっぽの子どもたちにとっては、
とても楽しい行事のひとつと言えます。



いっぽでも玄関先に大きなカボチャを置きました。

10月30日(土)には、地域の家々を仮装して訪問し、お菓子をいただきました。この日はみんな朝からテンションアップ↑。訪問したときの挨拶の仕方や、台詞の練習にもしっかり取り組み、準備万端。3軒ほどおじゃましたのですが、仮装で出迎えてくれた方もいました。地域の方々にも理解をいただき、こうやって協力していただけることはとてもありがたいですし、子どもたちにとっても、いい思い出になります。



あいさつの後は「Trick or Treat!」
魔女からもお菓子をいただきました。

焼きいも：生活介護&児童発達支援

10月13日(水)に生活介護と児童発達支援の子を対象に、焼きいも会を実施しました。生活介護は、活動のひとつとして野菜づくりに取り組んできました。それに、今年は、真如苑みやぎの居場所づくり助成で焼きいも用のストーブも準備できました。本格的なストーブなので美味しい焼きいもができました。その日の午後のおやつとしても出され、好評でした。放デイでは11月に実施します。



ワクチン接種会場

いっぽの囑託医、三条小児科の三条先生から、「接種の難しい子どもたちのために出張しますよ。」という話があり、市役所と相談したところ、いっぽを会場に、新型コロナウイルスのワクチン接種を行うことになりました。この日は2回目の接種ということもあり、子どもたちは落ち着いて接種を受けていました。今回の接種人数は5人、もちろん、いっぽに通っていない子ども対象になりましたし、地域の方もボランティアとして手伝っていただきました。



いっぽカレンダー

生活介護の活動の中で、来年のカレンダーを作成しました。枠はスタッフが作りましたが、主に紙をちぎって貼り付けたのは利用者の方々です。いっぽで生活介護事業がスタートして半年が経過しました。活動の内容も充実してきています。10月には支援学校高等部の現場実習も受け入れ、計画的に実習に取り組むことができました。

いも煮会 10月23日

今年は、真如苑みやぎの居場所づくり助成の対象に選ばれたこともあり、盛大に交流会としてのいも煮会を開く予定でしたが、新型コロナウイルスの影響もあり、少人数での交流会となってしまいました。



それでも、いっぽ農園で採れたジャガイモの皮をみんなで剥いたりして、楽しみながら活動をすることができました。会食は、ソーシャルディスタンスで黙食でしたが、みんなで作ったいも煮はとても美味しかったです。なお、新型コロナウイルスの感染状況にもよりますが、11月23日(火・祝)は焼きいも交流会を予定しています。昨年の経験があるので今年はさらに充実したものにしたいと思います。